

あかまつ

【重点目標】「かしこく、やさしく、たくましい 子供の育成」

当別小学校
学校だより
第10号
平成29年12月22日

『家族・地域との絆』を・・・

校長 西野典男

冬休みまであと1週間という時期に、インフルエンザが流行し、学年閉鎖を余儀なくされました。保健便りでもお伝えしたように、休み中もそれぞれのご家庭で帰宅後のうがいや手洗いを徹底していただき、これ以上の蔓延を防いでいただければ幸いです。

さて、月日が経つのは早いもので、平成29年も残すところわずかとなりました。学校は、後期前半の教育活動を終え、冬休みに入ります。子供たちは、学校生活を離れて、家庭・地域を中心とした生活を送ることになります。私は、この冬休みを、子供たちが学校で培った様々な力を家庭・地域で発揮できるよい機会にしてほしいと願っています。

各学年では、後期後半への橋渡しがスムーズにできるようにと、冬休みの学習や生活の計画をしっかりと立てました。また、冬休み期間中を一つの大きな節目と考え、今年1年の自分自身を振り返ってじっくりと考えるよう指導しています。その振り返りを活かし、新しい年への明るい希望と新たな決意を抱けるようにしてほしいと願っています。

冬休み中は、家族みんなで過ごす行事もたくさんあると思われまふ。子供たちに大掃除や飾り付けなどの手伝いをさせ、家族の絆をさらに深めていただきたいと思います。毎日の手伝いや責任ある行動を通して自分が活かされている場をたくさん作ってほしいと願います。子供たちは、頼りにされたら、「お任せ！！」と頑張ってくれます。「愛されている」と感じたら、笑顔で返してくれます。褒められたら、もっと頑張ろうと思ひます。子供たちに家族の一員として家での役割を果たしてほしいと願っています。

また日頃、保護者として考えていることなどを、子供たちと一緒に、じっくりと時間をかけて対話していただけたらどんなに良いことだろうと思ひます。かけがえのない子供たちの成長のためには、何といたっても家族の笑顔と団欒が一番です。

家族愛と同様に大切なことは、地域を愛する心だと思ひます。年末・年始で地域の行事に家族そろって参加することは、自分たちを取り巻く地域の人たちとの触れ合いを通じて、望ましい人間関係を育む極めて意義深いものがあると思ひます。

地域行事は、この地域に住んでいる方だけに許されている特権です。子供たちにとっては心も体も開放的になる時期でもあり、地域行事を大いに満喫してほしいと思ひます。

各ご家庭におかれましては、23日間の冬休み、子供たちが生活のリズムを崩すことなく、生活や学習が計画通りに進むよう励ましや賞賛の言葉を是非かけていただきたいと思います。そして、一層の健康の維持、増進に努めるとともに、交通事故や雪による事故にあわないように十分気をつけ、有意義な日々を過ごすことができますよう、ご指導をよろしくお願ひいたします。

保護者・地域の皆様には、この1年間、言葉には言い尽くせないほどの温かいご支援、ご協力をいただきました。心から感謝と御礼を申し上げます。新たな年を迎えるに当たり、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

皆様、よい年をお迎えください。

<p>《1月の目標》</p> <p>○全校生活目標「あいさつや言葉づかいをしっかりとしよう」 具体目標：進んであいさつしよう ・人の嫌がることは言わないようにしましょう 安全の日の指導：冬道の安全に心がけよう</p> <p>○保健目標「生活リズムを整えよう」 指導内容：風邪の予防 冬のスポーツ 手洗い・うがい</p> <p>○図書指導の重点 「自分に合った本を読む」</p>

《1月の行事予定》 【帰宅時刻：午後4時30分】

日	曜	行 事	給食	スクールバス時刻
1	月	(元日)		
2	火	(年始休業)		
3	水	(年始休業)		
4	木			
5	金			
6	土			
7	日			
8	月	(成人の日)		
9	火			
10	水	給食費引き落とし		
11	木			
12	金	転入生受付 10:00- テストメール配信 12:00-		
13	土			
14	日	冬季休業終了		
15	月	3時間授業(給食なし) 放送朝会 通) 教育相談	×全	11:40
16	火	4-6年5時間授業 児童委 登校指導 計算がんばり週間(～22日)		14:40 15:40
17	水	冬休み作品展(～24日) 5.6年冬休み図書返却 バス通学指導		14:20
18	木	6年スキー学習 3.4年冬休み図書返却	×6	14:40 15:40
19	金	5年スキー学習 1.2年・いなほ冬休み図書返却	×5	14:40 15:40
20	土			
21	日			
22	月	昼休み短縮日課 計算がんばりテスト(4年以外) 4年スキー学習 2年給食なし(弁当持参) 5.6年外国語 書道の週間(校内書道コンクール～26日)	×2 ×4	14:20
23	火	4年計算がんばりテスト 3年読み聞かせ クリーンアップ大作戦の日		14:40 15:40
24	水	6年スキー学習 1.2年英語 訪問給食 6-1	×6	14:20
25	木	3年スキー学習	×3	14:40 15:40
26	金	5年スキー学習 当別中入学説明会 6年生中学校登校(3-6校時)	×5	14:40 15:40
27	土			
28	日			
29	月	2年・いなほスキー学習 選管	×2 ×いなほ	14:40 15:40
30	火	4年スキー学習	×4	14:40 15:40
31	水	3年スキー学習 通) 教育相談	×3	14:20

こ ども 相談 支援 センター
こども 相談 支援 センター
相談窓口のお知らせ

- ・いじめられている…
- ・学校に行きたいのに行けない…
- ・誰かに聞いてほしい…

そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談
0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

※行事予定は諸事情により変更となることがあります。

送迎やスキーの搬入の際、児童の安全確保のため、**校地内への車の乗り入れはご遠慮下さい**。ご協力をお願いいたします。

児童玄関の解錠は8：00です。ますます寒さが厳しくなりますので、早く登校しすぎないようにご配慮下さい。帽子・手袋などの寒さ対策もお願いいたします。

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

【学力調査からうかがえる本校のおおよその傾向】

- ① A問題（主として知識に関する問題）は、平均正答率で比較すると、国語・算数ともに全国・全道とほぼ同様（下位）の状況でした。平均正答数で比べると、国語・算数とも全国・全道と0.5問未満の違いでした。
- 国語～「読むこと」の領域は、全道の平均正答率を上回りました。一方で、「話すこと・聞くこと」の領域は、全国・全道の平均正答率よりやや低い状況でした。
- 算数～「図形」の領域は、全道の平均正答率を上回りました。しかし、「数と計算」「量と測定」の領域は、全国・全道平均の平均正答率よりやや低い状況でした。
- ② B問題（主として活用に関する問題）は、国語が全国・全道の平均正答率とほぼ同様（下位）の状況でした。算数は、全国・全道の平均正答率よりやや低い状況です。
- 平均正答数で比べると、国語・算数とも全国・全道と0.7問未満の違いでした。
- 国語～「読むこと」の領域は、全国・全道の平均正答率より高い状況でした。一方、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域は、全国・全道の平均正答率よりやや低い状況でした。
- 算数～「数と計算」「図形」の領域については、全道の平均正答率とほぼ同様（下位）の状況でした。しかし、全国の平均正答率との差は大きく、特に「量と測定」の領域については、全道と比べても相当低い状況でした。

【学習状況調査（児童質問紙）における本校のおおよその傾向】

- 自己肯定感の低さやコミュニケーション力の弱さという課題が見られます。
- テレビ、ビデオ・DVD、テレビゲーム、通話、メール、インターネットなどに費やす時間が、全国・全道に比べて高くなっています。なお、携帯電話やスマートフォンの所有率は、全国・全道と比べてやや低い状況です。
- 家庭での学習時間について、「まったくしない」「30分より少ない」児童の割合は、全国・全道と比べて低い状況です。一方で、「3時間以上」の長い時間を費やして学習している子の割合は、特に全国と比べて相当低くなっています。
- 家庭での学習の内容について、自分で計画して取り組んでいる児童、宿題をやっている児童の割合は、「どちらかといえばしている」も含めると全国とほぼ同様の割合です。昨年度までと比べて改善されています。

【本校の手立てとして、継続も含めて以下の事に取り組みます。】（一部抜粋）

- (1) 「ドリカムプロジェクト」による学力の定着・向上、授業改善
- ① TTによる指導や習熟度少人数指導等、個に応じた指導の充実
 - ② 一単位時間の中でのねらいの明確化と習熟時間の確保
 - ③ 「漢字がんばり」「計算がんばり」各週間の継続と強化
 - ④ チャレンジテストの実施と過去の調査問題の活用
- (2) 基礎・基本を活用する力の育成
- ① ユニバーサルデザインに基づく授業づくりと学習環境の整備
 - ② 教えて考えさせる授業展開や学習の充実
 - ③ 教科指導をはじめとした教育活動全般での、言語活動の場の設定や拡充
 - ④ 朝プリントなど、朝の時間の有効活用

【ご家庭へのご協力のお願い】

学力の定着・向上には、学校での学習に加えて、家庭での学習も欠かせません。家庭での学習の時間を決め、自ら進んで学習する習慣を身につけることは大切です。そのためにも、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、生活と学習のリズムを整えることが必要です。テレビやビデオの視聴やゲームの時間を決める等もお子さんと話し合ってください。家庭学習の時間の目安＝学年×10分（+10分）です。

第 48 回全国書道コンクール

第 49 回全国学生書道展

団体優勝

全国書道コンクールは少し前になりますが、9月に表彰が行われました。個人では谷詰実紀依さん(4年)が特別賞4席を受賞、茶畑蓮さん(6年)、明衣さん(4年)、悠衣さん(2年)の3きょうだい、坂本千咲さん(5年)、谷口悠さん(3年)、熊谷壮さん(2年)が特選を受賞しました。また全国学生書道展の表彰式は1月になりますが、こちらでも茶畑蓮さん、明衣さん、谷詰実紀依さん、坂本千咲さんが、コンクールに続いて特選を受賞しました。そして須藤わかなさん(5年)、谷口悠さん(3年)も特選を受賞します。

また11月の全国書画展覧会・書写の部で、武島颯大さん(6年)が特選を受賞しました。

青少年読書感想文全道コンクール入選

夏休み明けに募集された「第63回青少年読書感想文全道コンクール」に、自ら進んでコンクールを探し、学校を通して応募した高鶴彩来さん(3年)が入選しました。せっかくの機会ですから、多くの皆さんが参加してくれることを期待しています。

豆腐づくりに挑戦

11月29日、JA北いしかり青年部の皆様のご指導で、5年生が「豆腐づくり」を行いました。春に中庭の学校園を耕して頂いて、自分たちの手で植えた大豆を収穫し、自分たちの手で豆腐に仕上げました。当日は、10人を越える青年部の方々が、安全・衛生に配慮しながら、事前に準備した種類の異なる豆も使って、様々な味のな豆腐が完成しました。

自分たちで作ったものは何よりも美味で、「おいしい」「また作りたい」と歓声が上がっていました。



「租税教室」 「人権教室」

12月2日には6年生「租税教室」、12日には4年生「人権教室」が行われました。租税教室では町役場から講師を迎え、税の仕組みや使い途、納税の大切さ等、将来の公民としての義務についても学習しました。人権教室は、人権擁護委を講師に人権とは何か、人権がないとはどういう状態か、DVD視聴も行って学習を深めました。

4回目の中学校登校(6年生)

12月12日、6年生が中学校に1日登校しました。中学校の先生による理科と算数の授業、そして講師の方に来て頂いた書写の授業を体験しました。回を重ねるごと中学校の様子にも慣れ、落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができました。中でも書写は、気をつけるべきポイントを丁寧に説明して頂き、みるみる上達していく様子が見られました。

